

令和 6 年度
北九州保育福祉専門学校
学校関係者評価表

令和6年度 学校関係者評価報告 (北九州保育福祉専門学校)

1 教育理念

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学校の理念・目的・人材育成像は定められているか	適切	ほぼ適切
学校における職業教育の特性は何か	適切	
社会経済のニーズなどを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	ほぼ適切	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが保護者等に周知されているか	ほぼ適切	
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

教育理念に関する評価	評価項目	チェック欄	時代のニーズに相応しい建学の精神の具現化について、またその将来構想についても全職員でさらに協議し共通理解を図る必要がある。 戸早スピリッツ(人が好き)が、若い世代に伝わるような表現を今後考えてほしい。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

2 学校運営 及び 重点目標

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
目的等に沿った運営方針が策定されているか	適切	適切
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	適切	
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	適切	
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	適切	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか	適切	
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	適切	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

学校運営及び重点目標に関する評価	評価項目	チェック欄	さらに業務の効率化に向けて、情報システムに関する職員研修を推進する必要がある。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

3 教育活動

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか	適切	適切
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	適切	
学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	適切	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	適切	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しなどが行われているか	適切	
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	適切	
授業評価の実施・評価体制はあるか	ほぼ適切	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	適切	
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	適切	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	適切	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	ほぼ適切	
関連分野に関する業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するマネジメントが行われているか	ほぼ適切	
関連分野における先進的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	ほぼ適切	
教員の能力開発のための研修等が行われているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

教育活動に関する評価	評価項目	チェック欄	学習発表会(オペレッタ)等、学生主体の教育活動についても適切な評価・研究が求められる。人権問題が若い世代にとって身近な問題となっており、人権教育が若い世代の心に響いている。私たちの判断基準ではないところに学生が求めているものがあると感じる。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

4 学修成果

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
就職率の向上が図られているか	適切	適切
資格取得率の向上が図られているか	適切	
退学率の低減が図られているか	ほぼ適切	
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	ほぼ適切	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育活動の改善に活用されているか	適切	

【関係者評価】

学修成果に関する評価	評価項目	チェック欄	卒業後のキャリア形成への学修効果の把握及び同窓会組織の構築を図る取り組みが求められる。また、卒業生のその後の状況把握(定着率のリサーチ)をしていくことが求められる。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

5 学生支援

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	適切	ほぼ適切
学生相談に関する体制は整備されているか	適切	
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	ほぼ適切	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	ほぼ適切	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	ほぼ適切	
学生の生活環境への支援は行われているか	ほぼ適切	
保護者と適切に連携しているか	ほぼ適切	
卒業生への支援体制はあるか	ほぼ適切	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	ほぼ適切	
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	適切	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

学生支援に関する評価	評価項目	チェック欄	「社会人が学びやすい学校づくり」の一層の推進が求められる。 評価は「ほぼ適切」でなく「適切」で良いのではないか。卒業生の評価(ロコミ)を聞いても好評価である。自己評価が厳しすぎるのでは？評価の考え方」を検討してほしい。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

6 教育環境

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	ほぼ適切	ほぼ適切
学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	ほぼ適切	
防災に対する体制は整備されているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

教育環境に関する評価	評価項目	チェック欄	長期的・計画的な学習環境の改善に取り組む必要がある。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

7 学生の受入・募集

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学生募集は適正に行われているか	適切	ほぼ適切
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	ほぼ適切	
学納金は妥当なものとなっているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

学生の受入・募集に関する評価	評価項目	チェック欄	本校に興味関心を持つ高校生・社会人への働きかけを強化する必要がある。また介護福祉科の募集再開に向けて着実な準備が求められる。介護福祉科の再開にあたり、これまで学力にばらつきがある中でも高い合格率を維持してきたが、今後留学生が中心となることから合格率は約30%程度と見込まれる。教員のサポートを行いながら準備を進めることが求められる。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

8 財務

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	ほぼ適切	適切
予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか	適切	
財務について会計監査が適正に行われているか	適切	
財務情報公開の体制整備はできているか	適切	

【関係者評価】

財務に関する評価	評価項目	チェック欄	財務状況に対する全職員の共通理解を図り、その改善に向けて一致して取り組む必要がある。教職員理解が進まない状況が相変わらず見受けられる。学校は営利目的で事業を行わないので企業と違う点は理解できるが、学校の存続と発展は安定した利益がなければ達成できない。その点は理解が進むよう努力して下さい。次年度収支改善が見込めるいい傾向です。期待しています。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

9 法令等の遵守

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	適切	適切
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	適切	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	ほぼ適切	
自己評価結果を公開しているか	適切	

【関係者評価】

法令等の遵守に関する評価	評価項目	チェック欄	引き続き、コンプライアンスの遵守に全職員が一致して取り組む必要がある。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

10 社会貢献・地域貢献・リカレント教育

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	ほぼ適切	適切
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	適切	
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	適切	

【関係者評価】

社会貢献・地域貢献・リカレント教育に関する評価	評価項目	チェック欄	学生ボランティア等地域貢献・社会貢献を推進し、自治体やハローワークの協力を得ながら「社会人の学び直し」の取り組みをさらに推進する必要がある。 ボランティア活動後に何か形として残るものが得られると良い。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		